

茨城県知事 殿

学 校 名 東海村立村松小学校
代表者氏名 校長 飛田 順一 印

愛鳥モデル校活動実績報告書

令和元年度の愛鳥活動については下記のとおり実施したので、愛鳥モデル校指定要項第9条第2項の規定により、その実績を報告します。

記

1 愛鳥活動

(1) 愛鳥週間のポスター作成

令和元年度も多くの児童が愛鳥週間のポスターを作成した。
6年生の長谷川万哩さんの作品が県審査で佳作に入選した。

(2) クラブ活動

「野鳥観察クラブ」において、日本野鳥の会元茨城支部長の池野進先生を招いて、児童と共に野鳥観察をしたり、羽の採集をしたりしながら、野鳥に関する知識・理解を深めた。

(今年度で5年目 年間7回)



2 野鳥観察会の実施

今年はクラブでお世話になっている池野進先生を講師に招いて野鳥観察会を開催した。(12月21日)
また、今回は学校周辺ではなく、学区内の阿漕ヶ浦公園に場所を変えて、オオバン・マガモ・カルガモ・ヒドリガモなど水鳥についても観察することができた。悪天候の中であったが、7家族と教員5名が参加した。

3 生態研究等の実施

(1) 生態系の変容を探るための野鳥のリストの作成

平成19年度から観察できた野鳥のリストを作成し、毎年比較検討することで、生態系の変容を探る資料としている。今年は、野鳥観察会及びクラブの時間に観察できた野鳥を挙げることにした。

【令和元年度 観察できた野鳥のリスト】

ヒヨドリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ハンボソガラス、ハンブトガラス、スズメ、コシアカツバメ、キジバト、ジョウビタキ、キジ、アオジ、シジュウカラ、メジロ、コゲラ、ツグミ、ホオジロ、モズ、トビ、アオサギ、ダイサギ
計20種類

*声だけ聞いた野鳥 ガビチョウ、カケス、ホトトギス、ウグイス

(2) 野鳥の保護

学校の敷地内や校舎内に迷い込んだ野鳥を一端保護し、その後自然に返した。

(校舎内→イソヒヨドリ 駐車場→シメ)

4 その他

昨年より本校の周りでは土地開発が進み、森林や林が切り開かれ、自然環境が変わりつつある。野鳥観察ができる場所も制限され、野鳥のすみかが減少してしまうのではないかと危惧している。



飛べなくなっていたシメ

